

令和元年度 事業報告書



社会福祉法人新座市障害者を守る会

令和元年度 社会福祉法人新座市障害者を守る会 事業報告

1 事業の成果

(1) 第二種社会福祉事業

①障害福祉サービス事業

・生活介護事業

生活介護事業所「けやきの家」の事業概要については、事業報告書にある通りです。

・就労継続支援B型事業

就労継続支援B型事業所「くるみの木」の事業概要については、事業報告書にある通りです。

・多機能型事業

多機能型事業所「こぶしの森」の事業概要については、事業報告書にある通りです。

・共同生活援助事業及び短期入所事業

グループホーム「かなで」の事業概要については、事業報告書にある通りです。

②相談支援事業

相談支援事業所「ぽけっと」の事業概要については、事業報告書にある通りです。

③移動支援事業

生活サポートハウス「いっぽ」(移動支援事業)の事業概要については、事業報告書にある通りです。

(2) 公益事業

①障害児・者生活サポート事業

生活サポートハウス「いっぽ」(生活サポート事業)の事業概要については、事業報告書にある通りです。

②福祉有償運送事業

生活サポートハウス「いっぽ」(福祉有償運送事業)の事業概要については、事業報告書にある通りです。

(3) その他の事業

①障がい者スポーツ事業

障がい者スポーツ事業の概要については、事業報告書にある通りです。

②地域ふれあい事業

地域ふれあい事業の概要については、事業報告書にある通りです。

(4) 公益的な取り組み

①地域中学生の職場体験や保育実習生、介護等体験実習生の受け入れについては、けやきの家、くるみの木、こぶしの森事業報告書にある通りです。

②映画「道草」上映会の概要については、事業報告書にある通りです。

2 その他

①各会議の開催

評議員会・理事会

6月16日	第1回 評議員会(定時)	平成30年度決算、福祉充実計画、役員選任案の承認
5月31日	第1回 理事会(定時)	平成30年度事業報告書、決算書、役員候補選定の承認など
6月11日	第2回 理事会(臨時)	理事候補者選定の承認
6月16日	第3回 理事会(臨時)	理事長選定
7月23日	第4回 理事会(臨時)	評議員会提案事項の協議
9月19日	第5回 理事会(臨時)	処遇改善加算に伴う規程変更案、補正予算案の承認
9月30日	第6回 理事会(臨時)	規程変更案の承認など
10月8日	第7回 理事会(臨時)	規程変更案の承認など
11月29日	第8回 理事会(臨時)	管理者の選任
12月17日	第9回 理事会(臨時)	新座市相談業務委託契約の更新辞退の承認
3月27日	第10回 理事会(定時)	令和元年度補正予算、令和2年度事業計画、令和2年度予算案の承認

事務局会 : 5/22、7/29、9/24、11/19、12/24、2/7

※3月感染症対策の為中止

施設長会議 : 4/22、5/16、29、7/17、9/26、10/18、11/7、12/6、24、1/14
1/22、2/27、3/12

運営委員会 : 4/15、5/15、6/25、7/18、9/20、10/25、11/18、12/16、1/22
2/18、3/16

リーダー会 : 4/19、5/20、6/13、7/25、8/27、9/18、10/15、24、11/12、21
12/12、1/21、2/19、3/19

②キャリアパスの整備及び処遇改善加算の取得に向けたプロジェクト

(令和元4年月～令和2年3月) 業務委託先 : 日本コンサルティング株式会社

6月25日	第1回	・スケジュール確認・法人状況聞き取り調査
7月10日	第2回	・現状確認・課題共有・職員説明会内容確認
7月30日	第3回	・合同職員会議・処遇改善及びキャリアパス説明
8月6日	第4回	・キャリアパス内容検討・処遇改善グループ分け検討
8月22日	第5回	・処遇改善加算申請書確認・就業規則案検討
9月4日	第6回	・就業規則案確認・育成計画の検討・補正予算準備
9月19日	第7回	・理事会への説明
9月24日	第8回	・職員説明会
10月4日	第9回	・就業規則案検討・育成計画の検討
11月12日	第10回	・業務課題の検討

11月27日	第11回	・業務課題の決定
1月7日	第12回	・雇用助成金申請書確認・育成計画の決定
3月5日	第13回	・最終確認

③緊急時対応マニュアルの実施検証

- ・各事業所にて緊急時マニュアルの手順の確認及びロールプレイを実施
- ・年度末にリーダー会を中心に平成31年4月～令和2年3月までの緊急時対応についてまとめ、今後の課題を抽出

④関係機関への参加

市教育委員会 / 市総合計画委員 / 市障がい者施策推進協議会
 市地域自立支援協議会 / 市就労支援センター運営委員会 / 市子育て支援会議
 新庁舎建設検討特別委員会 / 新座市社会福祉協議会 / 新座市体育協会
 新座市商工会 / 東部第一地区地域福祉推進協議会 / 北部第二地区地域福祉推進協議会

令和元年度 生活介護事業所けやきの家 事業報告

<はじめに>

令和元年度は、和光特別支援学校を卒業された新メンバー1名が入所し在籍者数36名でのスタートとなりました。

ここ数年職員不足が続いていたけやきの家でしたが、4月に新人職員3名が入り職員体制が整った年でした。職員が増えたことによって、メンバーに安定した支援を行うことができました。

送迎車の確保も課題の一つでしたが、埼玉県共同募金会より助成をいただき、リフト車一台を購入することができました。また、老朽化していたもう一台のリフト車を買替、メンバーが安心してけやきの家に通所することができました。

嬉しい出来事として、長期入院していたメンバーがご自宅に戻り、けやきの家の利用を再開したことです。メンバー、保護者、職員、みんなにとって嬉しい年となりました。

日課以外にも、外出活動、さをり織りや絵画、余暇活動としてデザート作りや音楽をみんなで楽しみました。また、理学療法士より指導を受けながら、「体の思い出し作業（体の取り組み）」を継続しました。様々な活動を通して、メンバーそれぞれがイキイキを発揮できた一年でした。

<1.生産活動>

[自主製品製作]

紙すき製品・紙粘土製品・トートバック・松ぼっくりや糸で制作したクリスマスツリーやリースの販売を行いました。（前年度に引き続き、けやきの家にて常時販売・就労支援センター前にて「スマイルショップ」での設置販売・随時市内のイベントにて販売・福祉の里にて製品展示）

[新聞回収]

例年同様、堀ノ内・道場・石神・本多地区、および、その他商店等からの古新聞・雑誌・ダンボール回収を行いました。地域の皆様からの変わらぬご協力を頂けていることは、メンバーにとっても大きな励みとなっています。

また、メンバーのご家族からも“工賃が少しでも増えるように“という思いのもと、ご協力いただけていることは大きな支えとなっています。

[ポスティング]

「増木工業株式会社」の広告チラシ配布を前年度に引き続き実施しました。配布したエリアでリフォームやIHキッチンなどの成約があった場合は、増木さんから成果報酬をいただける機会となり、メンバーのやる気にもつながっていると同時に、車イスメンバーも参加できる仕事として充実感につながっています。

< 2. 地域参加活動 >

[通信配布]

例年同様、毎月1回「けやきの家通信」を、新聞回収協力先と市役所、11ヶ所の公民館等に配布を行いました。

[道場夏まつり出店]

職員だけではありますが夏まつりに出店し、焼きそば、フランクフルト、自主製品の販売を行い、町内会の皆様と接することができる良い機会となりました。日頃の感謝の気持ちを含めて、食べ物の売り上げについては町内会へ寄付させていただきました。

< 3. 余暇支援活動 >

[活動日]

少人数グループによる日帰りの外出活動として1人年2回ずつ行いました。トランポランド、航空公園、鉄道博物館、カラオケ、としまえん等に出かけました。(活動費は利用者負担)

[音楽の日]

NPO法人愛音(あいね)との音楽療法士派遣契約の上、毎月1回「音楽の日」を実施しました。

[さをりの日]

みはら手織りひろばの米田先生に来ていただき、毎月1回「さをりの日」を実施しました。

< 4. その他支援活動 >

- ・「いっぽ」「ぽけっと」および「かなで」、市内グループホーム、その他福祉サービス事業所と必要に応じて情報交換を行いながら連携を図ってきました。
- ・リフト車3台、マイクロバス1台、軽リフト車1台、軽自動車1台の計6台で、週3回(月・水・金曜日)の送迎を実施しました。[36名中希望者35名を対象に実施]
- ・健康診断(1回/年)、歯科健診以外にも、歯科医師、歯科衛生士による口腔ケアや、堀ノ内病院Dr.の摂食に関する定期的な往診相談を実施しました。また、必要に応じて

通院の付き添いや医療機関との連携を図りました。

- ・1回/月けやきの家におけるリラクゼーションの留意点などを理学療法士にレクチャーしていただき、職員による体の取り組みを行いました。
- ・職員は各種研修に行き専門性の向上に努めました。また、職場内で研修報告会を行いました。

「けやきの家」年間行事内容

4月	1日	入所式
6月	2日	福祉フェスティバル
	11日	健康診断（けやきの家：堀ノ内病院医師）
	17日	交流会（福祉の里体育館：くるみの木・こぶしの森と合同）
	20日	保菌検査
7月	11日	歯科検診
	19日	消防訓練
8月	13～16日	夏期休暇
	25日	道場夏祭り（模擬店出店：職員のみ）
10月	20日	にいざふれあいピック
12月	20日	忘年会（けやきの家：保護者・ボランティアと合同）
	30～1/3	冬期休暇
1月	6日	新春顔合わせ（新座観音参拝）
	20日	成人を祝う会
2月	19日	消防訓練
	20日	保菌検査
3月	30.31日	年度末休暇・年度末会議

【保護者会】

毎月第1（火）に開催 ※新型コロナウイルス感染防止の為、3月の保護者会は中止

【実習生受入れ】

和光特別支援学校 3年生1名（7/1～7/3）
 和光特別支援学校 2年生1名（12/10～12/12）
 和光特別支援学校 2年生1名（2/10・2/12・2/13）

【介護実習生受入れ】

日本社会事業大学 障がい者支援実習 1名（5/13～21）

【保育実習生受入れ】

十文字学園女子大学 保育士養成施設実習 2名（2/25～3/11）

【支援員研修】

ビジネスマナー研修 (4/9)
新任職員研修 (6/19・20 6/28・7/1)
人事管理 (6/13・21)
知的障害支援者専門研修会 (7/3・4・5)
強度行動障害支援者養成研修 基礎研修：1名 (7/22・7/30)
社会福祉法人監査研修 (7/26)
財務管理担当者研修 (10/15)
職場研修担当者養成研修 (10/3・10/17・10/25)
「楽しめる」レクリエーション研修 (10/31)
スーパービジョン研修 (10/24・11/8)
口腔ケア研修 (11/7)
中堅職員研修 (11/11・12)
脳血管障害による摂食・嚥下障害とリハビリテーション研修 (11/21)
摂食嚥下リハビリテーション実践研修 (12/11)
新任職員フォローアップ研修 (1/21)
虐待防止・権利擁護研修 (共通講義) (12/4)
自閉症 (A S D) 者への支援 専門研修 (12/25)

令和元年度 就労継続支援B型事業所くるみの木 事業報告

<はじめに>

年度始まりは、特別支援学校の新卒者1名を迎え、32名(定員25名)でスタートしました。12月より新規事業所にて新しい生活を送る事になった2名のメンバーが退所となり、送り出したメンバーの中には、同時に2名の仲間がいなくなった事の現実を受け止めるまでに、少し時間が必要な方もいましたが、徐々に落ち着きを取り戻しました。

昨年度も、工賃アップを目指しながら、色々な作業に取り組み、新たな企業先との仕分け作業やタオルたたみ作業にも挑戦した年でもありました。また、楽しみの部分も大事にし、4つのグループで外出をする新座探検隊の行事、地域の方々との交流目的でくるみの木まつりを開催しました。

『みつばちがってん組』として、施設外支援(事業所以外の場所で就労等目指してメンバーのみで活動する事)の取り組みも、6名のメンバーが継続して安定して行う事ができました。

くるみの木で作業を行って工賃をもらい、その工賃でどうしたいかという話を、工賃支給日にお茶会をしながら語り合うという時間も、昨年度同様に大切にできており、この1年で、工賃もらったら〇〇したい、〇〇買うよ、といった会話もよく聞こえるようになりました。

<1. 仕事支援>

① 月末の仕事会議で、外班か中班か選択してもらい、1カ月のサイクルで作業を行いました。

<外班>

- ・協力していただいている地域に、アルミ缶回収に伺いました。
- ・不要になったガス台などを回収し、解体作業を行い分別し搬出作業を行いました。
- ・(株)リハーツの給湯器を定期的にいただき、解体作業を行いました。
- ・みつばち支援センターから、廃棄する DVD やおもちゃ等の搬入と搬出に行きました。

<中班>

- ・ストラップ「からふる」、カードケース等「和ごころ」、ヘアゴムの「和ごむ」のくるみの木グッズの作成や販売を行いました。
- ・太平工業(株)のボルト、ナットの検品作業の内職を行い納品に行きました。

<外班、中班共通作業>

- ・回収されたアルミ缶をカゴにあけ、選別、プレス作業を行いました。
- ・みつばち支援センターの本、おもちゃ、DVD 等の仕分け作業を行いました。
- ・(株)アシストの付録付き雑誌の仕分け作業を行いました。
- ・東京リネンサービス(株)のタオルたたみの作業をして、納品、搬入を行いました。

② 施設外就労

- ・増木工業(株)の草取り作業、コンテナ内混載分別作業を行いました。
- ・市内 6 か所の公園・児童遊園のごみ拾い清掃に各場所月 1 回行いました。
- ・市役所古紙回収作業を行いました。
- ・みつばち支援センターへ出向して、本、おもちゃ、DVD 等の仕分け作業や封書類をシュレッターにかける作業を行いました。
- ・(株)アシストへ出向して、付録付き雑誌等の仕分け作業を行いました。

③ 施設外支援

- ・6名のメンバーが、週に3回、9時～15時半まで、みつばち支援センターにて、本、おもちゃ、DVD 等の仕分け作業を行いました。

《その他》

- ・催し物など販売会に積極的に参加してきました。
大宮駅コンコースバザール(12/3～5)

< 2. 生活支援 >

① 活動

- ・4班(A班～D班)に分かれ、班活動を行いました。
一週間交代の当番活動(朝の出席、お茶入れ、コップ洗い、ゴミ捨て等)や 年8回の(第3金曜日)の調理の活動、班対抗のくるみポッチャリーグなど取り組みました。

② 余暇支援

- ・毎月最終木曜日の午後に余暇の時間としてポッチャ・ビデオ鑑賞等を取り組みました。
- ・「工作の日」(講師:本多秀子氏)を行い、ふれあいピックの応援グッズを作成しました。

< 3. その他 >

- ・新座市障がい者福祉課を始め各福祉サービス、医療機関、市内の各団体等と連携を図りながら必要に応じて随時支援を行いました。
- ・健康診断および歯科検診を実施し、必要に応じて、血圧、体重測定を行い、健康管理に努めました。

- ・ニュース「のんき 元気 くるみの木」を毎月発行（年 12 回）し、アルミ缶回収協力地域と市役所、公民館等に配布を行いました。
- ・職員は、各種研修に行き、専門性の向上に努めました。又、職場内で研修報告会を行いました。
- ・相談支援事業所「ぽけっと」と連携して担当者会議を開催しました。

令和 1 年度 くるみの木 年間行事実施内容

4 月	1 日	入所式
6 月	2 日	福祉フェスティバル(福祉の里)
	17 日	3 施設合同交流会
	21 日	保菌検査
7 月	18 日	健康診断(くるみ)
	25 日	歯科検診(くるみ)
8 月	23 日	消防訓練
	12~16 日	夏期休暇
10 月	20 日	新座ふれあいピック(新座総合体育館)
11 月	7 日	歯科アフターフォロー(くるみ)
	28、29 日	県外宿泊(りんどう湖レイクビュー)
12 月	21 日	くるみの木まつり
	30~1/3	冬期休暇
2 月	13 日	消防訓練
	25 日	保菌検査
3 月	30、31 日	年度末休暇

【保護者会】

毎月第 1 水曜日に開催 ※新型コロナウイルス感染防止の為、3 月の保護会は中止

【実習生受け入れ】

所沢おおぞら特別支援学校 2 年生 1 名(8/5~8/9)

十文字学園女子大学 保育士養成施設実習 2 名(2/25~3/11)(3/11~27)

【支援員研修】

埼玉県発達障害福祉協会令和元年度新任職員研修 2 名(6/19.20 6/28.7/1)

財務管理研修(10/15)

スーパービジョン研修(10/24.11/8)

全日本自閉症支援者協会研修大会埼玉大会(11/7)

虐待防止研修(12/4)

発達障害に関する研修(12/25)

障がい者虐待防止権利擁護研修 B コース研修(1/27)

令和元年度 多機能型(生活介護・就労継続支援 B 型)事業所

こぶしの森事業報告

<はじめに>

令和元年度は、新メンバーを1名迎えつつ、様々な事情で新生活を始めるため退所される方が3名、ご病気により退所された方1名と活動する仲間の変化や、退職による職員体制の変化があり、環境の変化の中で、安心して活動できる場をどのように整えていくかが課題となる一年でした。また、生活介護事業と就労継続支援 B 型事業の活動場所を明確に分け、取り組み内容の見直しを行いました。その中で生活介護事業は、作業だけでなく体を動かす取り組みや織物や絵画など表現活動の時間をより多く確保し、就労継続支援 B 型事業は、新座市就労支援センター紹介の新規の請負作業にもチャレンジしました。僅かですが就労継続支援 B 型事業を利用しているメンバーの工賃アップに繋がりました。2020年入ってからは、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、保護者会や行事の参加を見合わせるなど、ご家庭と協力しながら感染防止対策に取り組みました。

<1. 生産活動>

生活介護事業（生活班）

- ① 内職（朝霞流通・明友商事）の作業を継続しました。
- ② ヒノキ材による木工玩具（動物パズルやサンタの置物、表札など）の製作、「青森ひば」を使用したまな板や動物パズル、キーホルダーなど、木それぞれが持つ特性を活かした製品づくりを行いました。新製品として、会社のロゴマークをかたどったオリジナルコースターの受注制作を行いました。
- ③ 「みはらておりひろば」の米田先生を月1回のペースでお招きし、希望するメンバーにさをり織を教えていただきました。

就労継続支援 B 型事業（就 B 班）

- ① 内職（朝霞流通、TOP、りそな銀行など）の作業を継続しました。
- ② エステック株式会社タイムカード検品、封入作業
- ③ 建築パネルのリサイクル作業
- ④ 和紙染め作業、和紙による加工製品として、封筒、ポチ袋、手提げ袋、ワインがちょうど入る手さげ袋などを製作しました。
- ⑤ 陶器のぬか床の水抜きの作成と納品を行いました。
- ⑥ 「みはらておりひろば」の米田先生を月1回のペースでお招きし、希望するメンバーにさをり織を教えていただきました。

《施設外就労》

車で現地まで移動して作業を行っています。

- ① 蓮光寺（新座市内）の清掃作業
- ② 福祉作業支援センター（みつばち作業所：所沢）で本や CD 等の仕分け作業
- ③ 新座市役所にて各課を回り不要紙類の回収及び所定の場所への集積作業

《施設外支援》

受け入れ先の事業所や相談支援事業所と連携し円滑に取組めるよう調整をしました。

- ① 喫茶ココの接客業務など

《希望者合同（生活介護・就労継続支援 B 型）作業》

- ① 銀のさらの封入作業
- ② 増木工業株式会社のポスティング作業、市議会議員のポスティング作業

< 2. 日常活動 >

- ① 年間のイベントごとに音楽やダンスを積極的に取り入れ全体で楽しめる雰囲気づくりをしました。
- ② 月1回「美味しんぼ」、「ショパン」、「アスリート」、「ロハス」の4班に分かれたクラブ活動を行いました。
- ③ 毎月1回、メンバーの希望を聞きながら、メンバーが楽しめる企画を班活動日とし、班ごとに様々な活動を行いました。
- ④ 新座市体育協会と協力して、月約1回月曜日の午後の時間に、楽しく体を動かす活動として「レクリエーションスポーツ」を計10回行いました。
- ⑤ 福祉の里や公民館等との連携を深め、昼休み等、メンバーの自由な地域交流の場を保障しました。
- ⑥ メンバーの健康管理の一助として、週1回～月1回体重測定及び、2週1回血圧測定（高血圧・糖尿の方を中心）を行いました。

< 3. 外部実習 >

- ① 新座市障がい者就労支援センターと連携して市役所実習や図書館実習を行いました。
- ② NPO法人にんじん畑が運営する福祉の里喫茶ココと連携して実習を行いました。

< 4. その他 >

- ① 健康診断及び歯科検診を実施しメンバーの健康管理に努めました。
- ② PTに9月、3月の半日ずつメンバーの体の状態に沿った取り組みの指導を受けました。
- ③ 月1回こぶしの森通信を発行し地域や他施設への情報発信を行いました。
- ④ 第10回障がい者アート企画展への出展を行いました。
- ⑤ 相談支援事業所「ぽけっと」と連携して担当者会議を開催しました。必要がある場合は施設見学への同行も行いました。
- ⑥ ご家族やボランティアの協力を得ながら、自主製品（織物）の新製品の検討会を行いました。
- ⑦ 表現活動として、絵画など各人が希望するメニューで過ごせる時間を設けました。

令和元年度 こぶしの森 年間行事実施内容

4月	1日	入所式	10月	31日	県外宿泊B班
5月	20日	メンバー健康診断 (TMG サテライトクリニック朝霞台)	11月	～1日	県外宿泊A班
				14日	
6月	2日	福祉フェスティバル		～15日	嘱託医健康診断①
	17日	三施設交流会		20日	
7月	29日	こぶし夏まつり		27日	嘱託医健康診断②
8月	13日	夏期休暇	12月	23日	お楽しみ会
	～16日		1月	6日	新春顔合わせ
10月	2日	避難訓練			20日
	10日	歯科検診	2月	6日	歯科アフターフォロー
	20日	ふれあいピック	3月	30.31日	年度末休暇/年度末会議

[保護者会]

毎月第一月曜日に開催（振替休日の際は第二月曜日）

※新型コロナウイルス感染防止の為、3月の保護者会は中止

[実習生受け入れ]

令和元年度 4名受け入れ

和光南特別支援学校高等部：2年生 1名（6月10日～6月14日）

和光南特別支援学校高等部：2年生 1名（6月24日～6月28日）

所沢おおぞら特別支援学校高等部：2年生 1名（8月6日～8月8日）

所沢おおぞら特別支援学校高等部：3年生 1名（9月2日～9月6日）

十文字学園女子大学：保育士養成施設実習： 令和元年度 2名受け入れ

・2月25日～3月11日 ・3月9日～3月25日 各期1名

介護等体験事業：教職員を目指す学生の体験実習： 令和元年度 17名受け入れ

<職場体験チャレンジ>

新座市立第五中学校 2年生 3名（7月3・4・5日）

新座市立第三中学校 2年生 2名（11月19・20・21日）

[支援員研修]

ビジネスマナー研修：1名（4月9日）

自閉症支援入門研修：1名（5月22日～24日）

知的障害者支援者専門研修：1名（7月3～5日）

強度行動障害支援者養成研修<基礎編>：1名（7月22・30日）

法人監査研修：1名（7月25日）

発達障害の理解：1名（8月7日）

発達障害と併存障害・周辺症状への理解：1名（9月27日）

障がい者虐待防止権利擁護研修：1名（12月4日）

令和元年度グループホーム『かなで』 事業報告

<はじめに>

令和元年度も共同生活援助（定員10名）と短期入所事業（定員2名）を行いました。

共同生活援助は、平成29年（2017年）5月の開設当初から入居している10名のメンバーが暮らしています。高齢の親の健康状態の変化に伴い、週末に親が暮らす自宅へ一時帰宅することができなくなり、平日・休日共に『かなで』で暮らす生活スタイルになった方がいます。「親の支援なき後」も地域で安心して暮らす場としての機能を発揮することになりました。反面、大雨による洪水災害や未知の感染症の流行と日常生活を脅かす出来事が続き、入居者の生活を保障し続ける責任の重さを実感した年でもありました。

短期入所事業は、可能な範囲で受け入れを行いました。令和2年1月から新しい職員体制になり、利用を促進する取り組みを始めています。親が長期入院する期間、『かなで』で暮らして、いつも通りの日中活動を続けた方がいます。自宅の暮らしが困難な時に、第2の家として利用し、地域で安心して暮らし続けるための支援ができたことに手ごたえを感じています。

<1. 支援内容>

[生活の流れ（平日）]

6:30～	7:30～9:10	15:40～ 16:30		18:00		21:00
朝食	通勤・通所	帰所	入浴	夕食	入浴	消灯

①食事に関する支援

朝食はパンを主食にサラダ等の副食2品とヨーグルトを提供、夕食はお米を主食に肉または魚料理と野菜料理等3品と汁物を調理して提供してきました。

②通勤・通所に関する支援

自転車、バス、電車等を利用して自力通勤・通所しているメンバーと『かなで』送迎車両によって通所しているメンバーがいます。通所・通勤先の事情に合わせて出発する支援を行っています。また、帰所時間がいつもより遅い時には、通所先の事業所と連絡をとりながら対応をしています。

③生活に関する支援

洗濯や入浴等、支援が必要な面においてはスタッフによる支援を行ってきましたが、自分でできることを日々継続することで、本人の生活力の向上と自信につながってきました。

④夜間に関する支援

夜勤スタッフによる定時巡回と事務室に設置してあるカメラモニターの映像により、夜間における安全の有無を確認してきました。

⑤健康管理に関する支援

日常の服薬管理をはじめ、体調不良時には家庭や日中支援事業所との連絡等を通して、メンバーが健康を維持できるよう支援を行って왔습니다。

⑥金銭管理に関する支援

日中支援事業所の工賃管理や必要な費用について金銭管理を行ってきました。

< 2. イベント >

①誕生日会

10名それぞれの誕生日には、本人からの希望の料理を聞いて、ケーキ等と一緒に夕食で提供してきました。互いにお祝いし合う習慣もできて定期的な楽しみになっています。

②忘年会

12月にカラオケとピザ会（ピザ専門店よりテイクアウト）を行いました。手作りではなかなか提供できない料理なので、色々な味のピザに皆喜んでくれました。

③定期カラオケ会（自由参加）

毎週金曜日の夕食後にカラオケ会を開催してきました。多くのメンバーの楽しみとして定着するとともに、メンバー同士のコミュニケーションや協調性を育める時間となりました。

< 3. 年間開所日 >

4/29～5/5、8/12～8/16、12/29～1/3を除く毎日開所しました。家庭の事情で実家へ帰る機会を持たずに、毎日『かなで』で過ごすメンバーがいたり、反面体調不良、ケガ等で長期欠席を余儀なくされたメンバーがいました。

< 4. 短期入所事業 >

ご家族の入院や遠方での法事等、緊急性の高い事情によるものと、将来の緊急時に向けた体験利用として実施してきました。

〔実績〕 延べ利用人数：10名 延べ利用日数：35日

令和元年度 相談支援事業所 ぽけっと 事業報告

<はじめに>

令和元年度も「サービス等利用計画」「障がい児支援利用計画」を作成する「計画相談」と新座市から委託を受けて「新座市障がい者相談支援事業」を行ってきました。

「新座市障がい者相談支援事業」では「福祉サービスの利用」が 284 件で最も多く、「療育・教育」が 114 件で 2 番目に多い年でした。「療育・教育」は前年度から約 2 倍になり、もともと多かった成人の障がい者の相談支援に、障がい児の相談支援が加わってきたことが特徴です。

「親なき後」も地域で暮らしていけることを目指していますが、高齢になった親が病気になり、親自身の生活に治療や支援が必要になる「親の支援なき後」の暮らしを余儀なくされるケースが増えたと実感しています。令和元年 10 月～11 月、市内に 2 か所のグループホームが開設されました。「ぽけっと」と契約している相談者を対象に 3 日間の合同見学会を 2 回実施しました。通いなれた通所施設を退所して、グループホームの生活を始める方、グループホームから通いなれた通所施設へ行く生活を始める方の事業所と家族の連絡調整を行い、自立生活を後押しすることができました。一方、たくさんの方と話をする中で、自立生活を始めるには本人の心の準備ができないという声、また親の心の準備ができていないという声、グループホームで暮らせても通所手段がないから利用できないという声、経済的に困難という声など、様々な声を聴く機会となりました。それぞれに事情に寄り添いながら自立に向けた支援計画を作る相談支援の責任の重さを再確認しました。

一方、専従の相談支援専門員できめ細かい相談支援を目指してきましたが、財政的に安定運営をすることが困難になり、相談支援専門員が他の事業を兼務することになった結果、「新座市障がい者相談支援」の人員配置を確保することができなくなり、令和 2 年度の業務委託の申請を行わないという決断を行った年でもありました。

平成 30 年度で地域課題となっていた「相談支援専門員」の不足問題は、抜本的な解決方法は見つからず、「ぽけっと」だけでなく、他の相談支援事業所も新規の計画相談依頼をお断りすることが続き、引き続きの地域課題となっています。

<令和元年度の特徴>

計画相談の契約者数

	成人（18 歳以上）	児童（18 歳未満）	合計
平成 31 年 3 月末の契約者数	151 名	68 名	219 名
令和 2 年 3 月末の契約者数	145 名	72 名	217 名

【講演会開催】

- ・ R1. 6. 29 第 1 回 知的障がい者と共に歩むきょうだいの集い
相談支援事業所ぽけっと 相談室 / 参加者 5 名
- ・ R1. 7. 24 第 1 回「障がい者のために、親が、今、考えること、できること」
新座市社会福祉協議会 会議室 / 参加者 10 名
- ・ R1. 10. 30 第 2 回「障がい者のために、親が、今、考えること、できること」
新座市社会福祉協議会 会議室 / 参加者 13 名

【研修・学習会】

- ・ R1.7月－9月 強度行動障害（基礎研修）全2回（2名）
- ・ R2.3月 強度行動障害（実践研修）全2回（1名）

【その他】

- ・ R1.5.18 新座市社会福祉協議会主催 令和元年度介護職員初任者研修に講師として参加。
- ・ R1.4月－R2.3月 新座市地域自立支援協議会 協議会委員として参加（全4回）5/10、8/8、1/27、3/30（書面のみ）
- ・ R1.4月－R2.3月 新座市地域自立支援協議会 相談支援部会 定例会（全6回）5/10、8/9、10/11、12/13、2/12、2/14
- ・ R1.12－R2.3 新座市地域自立支援協議会 地域定着・移行部会 定例会（2回）12/3、2/12
- ・ R1.6.20/R2.1.15 和光・和光南特別支援学校 進路指導連絡協議会（全2回）
- ・ R1.7.8/R2.1.21 基幹・協議会研修（全2回）
- ・ R1.8.27/R2.1.21 埼玉県相談体制整備事業 南部ブロック会議参加（全2回）。

令和元年度 生活サポートハウスいっぽ 事業報告

<はじめに>

令和元年度は、所長1名、主任支援員1名、支援員1名の計3名の職員と、約20名のサポーターで活動をスタートしましたが、所長急逝により、11月から3月まで月曜日を定休日とし、何とか乗り切ることができました。定休日を設けながらも、職員及びサポーターが一丸となり様々な需要に可能な限り対応しました。利用者は、令和2年3月31日時点で132名の方が登録されており、年齢層は幅広く、年中児から、成人の方は50代の方まで様々です。

「いっぽ」は、事業開始から、15年の月日が経過しました。学齢期の方々は、卒園や入学、進学そして卒業などの人生の節目を迎える時期と一緒に過ごし、保護者の方々と共に子どもたちの成長を喜んできました。一方、高齢化に伴い、ご家族の長期入院や不幸等による家庭環境の変化に伴って、今まで行ってきた生活支援の方法や内容が大きく変わるケースが増えてきており、高齢化への対応の重要性を実感しております。

<運営>

11月以降は月曜日を定休日としましたが、開設当時から、土日祝日も開所し（年末年始を除く）早朝利用や夜間利用を問わず、連絡を受けた依頼に可能な限り対応しました。利用者（またはその家族）から依頼を受けるごとに、コーディネートを担当する職員（コーディネーター）が、依頼を受けた利用時間や活動内容に合わせて、職員やベテランサポーター、大学生の学生サポーター等の時間を調整しながら活動予定を組み、様々な依頼に対応しました。

不定期に依頼が入る「いっぽ」の活動は、サポーターの力が大きな支えです。その為、新たなサポーター獲得のため、いっぽ通信によるサポーター募集記事掲載や、近隣大学生へのいっぽサポーター勧誘を行い、2名の新規サポーターの獲得ができました。

厳しい職員体制のため、募集活動を行っていますが、早朝夜間の勤務や、多岐にわたるいっぽの業務に対応できる職員の採用はかないませんでした。その為、職員の採用活動を行うと共に、多岐にわたる事務作業の効率化のため業務の見直しを検討しました。直接支援の時間確保のため、ITの活用は今後の課題となっています。

また、「いっぽ」の活動拠点である建物は、住宅街にある一軒家で、来所される方々から、「親戚の家に来たようで、落ち着きます」と好評を頂いています。しかし、同居する相談支援事業の活動の増加に伴い、段々と手狭になってきているため、より良い生活空間を目指した移転の必要性が高まっています。更に、車両の確保も事業継続のため不可欠であることから、24時間TVに応募をしましたが、残念ながら非該当となりました。

<生活サポート活動>

「いっぽ」は、小学生、中学生、高校生といった学齢期から、成人と幅広い年代の方にサービス提供を行いました。障がい種別は、主に知的な障がいのある方ですが、身体障がいや精神障がいを併せ持つ方の利用もありました。

「いっぽ」の主な利用方法としては、「家庭の事情での一時預かり」「余暇活動のサポート」「出かけ先への送迎」の他に、「困った時のいっぽ」と言われる「緊急対応」が挙げられます。その中で、ご家族の長期入院や不幸等による家庭環境の変化で一人暮らしを始めた方々の生活支援を行いました。それに伴って、窓口がご家庭ではなく成年後見人の方となるケースが出てきております。こうしたケースには、相談支援事業者が中心となり、多種多様な関係諸機関と連携し、支援体制を整えるまでの期間の受け皿として大きな役割を果たし、体制整備後の支援し切れない細かな部分の担い手としても、尽力してきました。

また、様々な場面で送迎に関する問い合わせや相談の連絡が多数ありましたが、全てに対応することが困難なため、お断りせざるをえないケースがあり、限界を感じています。

他に、グループホーム『かなで』の短期入所はありますが、児童の利用希望や緊急時、いざという時のための体験的なもの等、「いっぽ」の宿泊サービスの需要も依然として根強いものがありました。

様々な背景をもつ利用者の、それぞれの生活の充実を目指し、相談支援事業所が行う担当者会議にも可能な限り参加しました。

令和元年度 生活サポート・移動支援利用時間数と件数（新座・朝霞）

	一時預かり		派遣		送迎		外出援助		生サポ	移動支援		総時間数
	時間数	件数	時間数	件数	時間数	件数	時間数	件数	合計	時間数	件数	(生サポ・移動)
4月	328.0	145	0.0	0	221.5	437	3.0	4	552.5	241.0	135	793.5
5月	343.5	151	0.5	1	209.0	401	22.0	6	575.0	283.5	145	858.5

6月	280.5	132	0.5	1	215.0	414	11.5	4	507.5	258.0	140	765.5
7月	275.0	143	0.0	0	237.0	463	25.5	7	537.5	231.5	141	769.0
8月	470.5	167	1.0	1	205.5	405	14.5	5	691.5	311.5	159	1003.0
9月	310.5	132	1.0	1	206.0	403	26.5	7	544.0	242.5	133	786.5
10月	255.0	107	6.0	2	201.0	395	17.0	2	479.0	177.5	95	656.5
11月	230.5	114	1.5	1	181.5	357	8.5	3	422.0	224.0	117	646.0
12月	252.0	111	0.5	1	170.0	332	15.0	10	437.5	209.0	104	646.5
1月	172.0	95	0.0	0	152.0	298	4.5	2	328.5	160.5	89	489.0
2月	277.0	122	2.0	1	172.5	339	8.5	3	460.0	201.0	111	661.0
3月	273.5	114	0.5	1	160.5	315	0.0	0	434.5	199.0	117	633.5
合計	3468.0	1533.0	13.5	10.0	2331.5	4559.0	156.5	53.0	5969.5	2739.0	1486	8708.5

<その他>

- ・畑中町内会 加入
- ・令和元年度埼玉県入間東地区福祉有償運送運営協議会 委員

令和元年度 障がい者スポーツ事業 事業報告

【主な活動】

令和元年度も障がい者サッカーチーム「新座ネクストFC」の活動を続けました。

定期練習会は、選手のニーズに合わせて、従来の3チーム構成から2つの練習チーム構成に変わりました。1チーム目がサッカーの本格的な技術を向上したい方がメインの「スキルアップチーム」、2つ目のチームがレクなどを通してサッカーを楽しんで行う「エンジョイチーム」です。4月の定期練習会で選手に練習メニューを説明して、選手の希望をとって所属チームを決定しました。はじめての試みのため、最初から所属を決めるのではなく、選手の希望を取りながら、時にはスキルアップ、時にはエンジョイと選手の自主性を尊重して進めました。「スキルアップチーム」では、練習のテーマを決めて選手が必死に練習していました。「エンジョイチーム」では、新しく参加した選手がいたり、一度新座ネクストFCから離れていた選手が復帰したりと、大人数でのサッカーレクリエーションをしながら取り組んできました。試合では、令和元年11月2日に入間ゴールズとの練習試合に参加しました。また、令和元年12月1日に入間わかくさ特別支援学校で行われた、彩の国ふれあいピックサッカー大会に参加し、3戦行い、1勝1敗1分という結果でした。

定期練習会は楽しく活動できましたが、悪天候になってしまうことが多く、定期練習会や交流戦の中止が続いた一年となりました。更に、増木工業株式会社の後援を受け、令和2年3月14日に開催予定だった「第8回マスキカップサッカー大会」ですが、新型コロナウイルスへの感染拡大防止のため中止になり、選手たちに残念な連絡をすることが多かった一年でした。

【活動実績】障がい児・者サッカーチーム「新座ネクスト FC」の活動報告

日にち	場所	内容	選手	ボラ	スタッフ	備考
4月13日(土)	殿山運動場	定期練習会	28	0	6	
6月15日(土)	黒須運動場	西部地区交流戦	/	/	/	雨天中止
6月29日(土)	殿山運動場	定期練習会	/	/	/	雨天中止
7月13日(土)	殿山運動場	定期練習会	/	/	/	雨天中止
9月14日(土)	殿山運動場	定期練習会	26	0	4	
10月26日(土)	殿山運動場	定期練習会	/	/	/	雨天中止
11月2日(土)	黒須運動場	入間ゴルフ交流戦	7	0	3	
11月9日(土)	殿山運動場	定期練習会	25	0	4	
12月1日(土)	わかくさ特別支援学校	ふれあいピックサッカー大会	11	0	4	
12月14日(土)	殿山運動場	定期練習会	29	0	6	
1月11日(土)	殿山運動場	定期練習会	21	0	4	
2月8日(土)	殿山運動場	定期練習会	20	0	6	
3月14日(土)	殿山運動場	第8回 MASUKI カップ	/	/	/	新型コロナ感染症防止のため中止

令和元年度 地域ふれあい事業 事業報告

【主な活動】

地域ふれあい事業は「講演会やレクリエーション企画などを通じて、障がいのあるなしに関わらず、地域の課題を共に考え、楽しみを共有する中で交流を深める」を目的にスタートしました。

平成30年度の下半期に、『地域との交流』と『公益的な取り組みを目指す』を主においた、地域向けのレクリエーション企画をたて、『地域のみなさんと交流をもとう。子供から高齢者の方までみんなで楽しめる場を作ろう。』を目的とした、イベントを開催する企画を進めてきました。

そのイベント『ちょこっとフェスタ』を令和1年7月6日(土)くるみの木を会場にし開催しました。当日は、近隣の事業所のみなさんの協力を得ながら、フードコーナー、七夕ファミリーコンサートなどイベントコーナー、ボールプールやアルミ缶つまみなどゲームコーナー、カードケース作りの体験コーナーなどが繰り広げられ、参加して下さったみなさんと一緒に楽しい時間を過ごすことができました。

【活動内容】

- ① イベント『ちょこっとフェスタ』を令和1年7月6日(土)に開催
・企画会議 4/24(水) ・各コーナー会議報告 ・最終打ち合わせ
4月～6月 ・食、音楽、カードケース体験各グループ会議を開催
8/7(水) ・ちょこっとフェスタ振り返り
・次年度に向けての企画検討

令和元年度 公益的な取り組み 映画「道草」上映会報告

【開催日時】 令和元年 10月22日(日) 10時20分～

【目的】 「重度」知的障害者の自立生活を描いた映画「道草」を一緒に見て、障がい者が自分らしい自立生活を選べる地域づくりを進める

【協力団体】 15団体

【参加者】 424名

【参加者内訳】 ①当事者(14%) ②当事者の家族、親族など(25%) ③福祉関係者(33%)
④その他(28%) ※割合はアンケート結果を基に算出

【当日プログラム】

9:00	スタッフ集合	13:00	開場
9:45	開場	13:25	ベル
10:15	あいさつ	13:30	あいさつ
10:20	第1回 上映開始	13:35	第2回 上映開始
11:55	自主上映開始	15:10	自主上映開始
12:15	終了	15:30	終了
	アンケート回収		アンケート回収
12:40	昼食	16:00	解散